



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年2月5日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社イチネンホールディングス
 コード番号 9619 URL <http://www.ichinenhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 雅史
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 井本 久子 TEL 06-6309-7890
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	48,752	19.3	3,572	8.3	3,488	13.7	2,089	23.5
25年3月期第3四半期	40,872	14.1	3,299	13.1	3,067	14.2	1,691	6.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,340百万円 (39.5%) 25年3月期第3四半期 1,677百万円 (7.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	83.06	-
25年3月期第3四半期	67.23	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	92,214	18,390	19.9	731.13
25年3月期	85,638	16,628	19.4	661.08

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 18,389百万円 25年3月期 16,628百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	10.00	-	11.00	21.00
26年3月期	-	12.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	12.00	24.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	11.6	4,700	7.8	4,360	7.2	2,400	4.4	95.42

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	25,163,727株	25年3月期	25,163,727株
期末自己株式数	26年3月期3Q	11,058株	25年3月期	10,985株
期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	25,152,697株	25年3月期3Q	25,152,793株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（金額単位の変更について）

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額につきましては、従来、千円単位で記載していましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位をもって記載することに変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間につきましても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
4. その他	14
(1) 株式取得に関する株式譲渡契約締結	14
(2) 事業の内容	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2013年4月1日～2013年12月31日)におけるわが国経済は、政府の経済政策及び日銀の金融緩和の効果も徐々に現れ、企業収益が改善するなど景気は緩やかに回復しているものの、米国の金融政策の動向や財政問題への対応による影響、欧州諸国における債務問題の長期化など、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、株式会社イチネンホールディングスを純粋持株会社とし、傘下の各事業会社が独立経営を進めながら、グループ一体経営を推進しております。

現在、「自動車総合サービス事業」、「ケミカル事業」、「パーキング事業」の各事業を展開しており、「機械工具販売事業」、「合成樹脂事業」にも参入しております。

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、487億52百万円(対前年同期比19.3%増)、営業利益は35億72百万円(対前年同期比8.3%増)、経常利益は34億88百万円(対前年同期比13.7%増)、四半期純利益は20億89百万円(対前年同期比23.5%増)となりました。

第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業経営戦略方針の変化に伴い、セグメント区分を変更いたしました。従来の「リース事業」、「自動車メンテナンス受託事業」、「燃料販売事業」を「自動車総合サービス事業」に集約しております。

なお、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、下記のセグメント別売上高は、内部売上高消去前の金額であります。

<自動車総合サービス事業>

リースにおきましては、リース契約車両は小型化傾向にありますが、中小口規模の企業を中心にリース化の進んでいない車両需要先をターゲットに新規販売を積極的に行いリース契約の増加に努め、既存顧客との取引深耕にも注力した結果、2013年12月末現在リース契約台数は61,691台(対前期末比1,916台増)となり、リース契約高は178億79百万円(対前年同期比3.3%増)、リース未経過契約残高は489億17百万円(対前期末比4.5%増)となりました。

自動車メンテナンス受託におきましては、当社グループ独自の自動車整備工場ネットワークによる高い点検実施率を強みとしながら、契約台数、契約残高の増加に努めた結果、メンテナンス受託契約高は40億74百万円(対前年同期比1.0%増)、メンテナンス未経過契約残高は71億46百万円(対前期末比7.0%増)となりました。

燃料販売におきましては、主力である自動車用燃料給油カードは、付加価値の高いサービスを顧客に提供し、他社との差別化を図ることにより、新規顧客獲得並びに販売数量の確保に注力いたしました。

損益面では、リース及び自動車メンテナンス受託において、契約台数の増加と低年式・走行過多車両の入替えを促進し、メンテナンスコストの抑制に注力いたしました。燃料販売では、自動車用燃料給油カードの販売価格の調整を適時・適切に実施いたしました。好調に推移した前年同期に及びませんでした。

この結果、売上高は265億75百万円(対前年同期比3.2%増)、セグメント利益は22億23百万円(対前年同期比5.2%増)となりました。

<ケミカル事業>

ケミカル事業におきましては、工業薬品関連では、主力製品の燃料添加剤の販売数量は減少しましたが、洗浄剤が大幅に増加いたしました。また、化学品関連では、ホームセンター等で販売される個人向け自動車ケミカル製品の販売は減少しましたが、機械工具商向けケミカル製品の販売は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は82億55百万円(対前年同期比1.6%増)、セグメント利益は6億56百万円(対前年同期比19.7%増)となりました。

<パーキング事業>

パーキング事業におきましては、中長期的に安定した収益基盤を築くため、更なる駐車場数の拡大と引き続き不採算駐車場の採算改善を行い、駐車場個々の収益向上に努めてまいりました。

この結果、2013年12月末現在駐車場管理件数は801件（対前期末比95件増）、管理台数は20,592台（対前期末比2,958台増）となりました。

損益面では、既存駐車場の収益改善策として、周辺店舗への駐車チケットの販売、月極契約の募集や駐車料金の見直し等、売上拡大策を講じるとともに、運営コストの低減を図ってまいりました。また、新規駐車場が堅調に増加いたしました。

この結果、売上高は31億14百万円（対前年同期比8.7%増）、セグメント利益は3億99百万円（対前年同期比32.4%増）となりました。

<機械工具販売事業>

機械工具販売事業におきましては、当社が2012年8月22日に株式を取得した前田機工株式会社及びその子会社1社において、機械工具及び自動車整備工具の販売を行っております。また、当社が2013年5月29日に株式を取得したタスコジャパン株式会社において、空調工具及び計測工具の販売を行っております。

損益面では、機械工具及び自動車整備工具の販売は落ち込みましたが、空調工具及び計測工具の販売は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は66億52百万円（対前年同期比347.8%増）、セグメント利益は95百万円（対前年同期は24百万円のセグメント損失）となりました。

<合成樹脂事業>

合成樹脂事業におきましては、当社が2012年9月27日に株式を取得した株式会社ジコー及びその子会社2社において、合成樹脂製品の設計・製造・販売等を行っております。

損益面では、合成樹脂原料及び科学計測器の販売は堅調に推移いたしました。遊技機メーカーへの合成樹脂製品の販売は落ち込みました。

この結果、売上高は42億45百万円（対前年同期比59.2%増）、セグメント利益は1億74百万円（対前年同期比47.9%減）となりました。

<その他>

その他におきましては、不動産の賃貸事業において一時的な費用が発生いたしました。

この結果、売上高は86百万円（対前年同期比3.4%減）、セグメント利益は11百万円（対前年同期比24.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資産の状況>

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は359億33百万円となり、前連結会計年度末残高342億80百万円と比べて16億53百万円増加いたしました。これは連結子会社の取得等に伴う「商品及び製品」の増加9億14百万円及び「受取手形及び売掛金」の増加8億49百万円、自動車税の納付による「前払費用」の増加4億57百万円、ファイナンス・リース取引の契約残高の減少による「リース投資資産」の減少5億70百万円が主な要因であります。

固定資産の残高は562億55百万円となり、前連結会計年度末残高513億22百万円と比べて49億32百万円増加いたしました。これはオペレーティング・リース取引の契約増加による「賃貸資産」の増加32億52百万円、パーキング事業用資産等の購入による有形固定資産「その他」の増加7億98百万円、主に時価評価による「投資有価証券」の増加4億27百万円が主な要因であります。

繰延資産の残高は25百万円となり、前連結会計年度末残高35百万円と比べて10百万円減少いたしました。

以上の結果、資産合計は当第3四半期連結会計期間末残高922億14百万円となり、前連結会計年度末残高856億38百万円と比べて65億75百万円増加いたしました。

<負債の状況>

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は411億94百万円となり、前連結会計年度末残高426億61百万円と比べて14億67百万円減少いたしました。これは、「短期借入金」の減少32億94百万円、「1年内償還予定の社債」の減少11億円、「1年内返済予定の長期借入金」の増加13億2百万円、「コマーシャル・ペーパー」の増加10億円、「未払法人税等」の増加7億73百万円が主な要因であります。

固定負債の残高は326億29百万円となり、前連結会計年度末残高263億48百万円と比べて62億81百万円増加いたしました。これはリース車両の購入資金及びM&A資金の調達による「長期借入金」の増加68億37百万円、「社債」の減少6億61百万円が主な要因であります。

以上の結果、負債合計は当第3四半期連結会計期間末残高738億24百万円となり、前連結会計年度末残高690億10百万円と比べて48億13百万円増加いたしました。

<純資産の状況>

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は183億90百万円となり、前連結会計年度末残高166億28百万円と比べて17億61百万円増加いたしました。これは、「四半期純利益」の計上による「利益剰余金」の増加20億89百万円、配当金の支払による「利益剰余金」の減少5億78百万円が主な要因であります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末より3億60百万円減少し、14億49百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、△14億5百万円（前年同期は△28億12百万円）となりました。これは主に、「税金等調整前四半期純利益」が35億72百万円となったこと、オペレーティング・リース取引の契約増加により「賃貸資産の純増減額（△は増加）」△86億77百万円が「減価償却費」61億44百万円を上回ったこと、自動車税の納付による前払費用の増加等により「その他」が△16億44百万円となったこと、「法人税等の支払額」が△11億15百万円となったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、△15億77百万円（前年同期は△27億3百万円）となりました。これは主に、パーキング事業における機器及び構築物の購入等による「有形及び無形固定資産の取得による支出」△15億18百万円、機械工具販売事業に係る「連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出」△9億2百万円、パーキング事業における土地及び建物等の売却による「有形及び無形固定資産の売却による収入」3億49百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、26億22百万円（前年同期は60億87百万円）となりました。これは主に、「借入れによる収入」209億63百万円及び「コマーシャル・ペーパーの純増減額（△は減少）」10億円が「借入金の返済による支出」△165億4百万円及び「社債の償還による支出」△22億11百万円を上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、現時点では、2013年10月31日に公表いたしました業績予想に変更はございません。
なお、引き続き今後の業績動向を踏まえ精査しており、修正の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,819	1,459
受取手形及び売掛金	9,382	10,232
リース・メンテナンス未収入金	1,949	1,927
リース投資資産	16,024	15,454
商品及び製品	1,459	2,374
仕掛品	75	59
原材料及び貯蔵品	274	327
前払費用	1,619	2,076
繰延税金資産	456	493
その他	1,230	1,537
貸倒引当金	△11	△9
流動資産合計	34,280	35,933
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
減価償却累計額	△26,399	△27,855
貸貸資産（純額）	25,888	29,141
土地	9,538	9,379
その他	11,144	12,171
減価償却累計額	△6,615	△6,844
その他（純額）	4,529	5,327
有形固定資産合計	39,956	43,848
無形固定資産		
のれん	5,236	5,201
その他	340	448
無形固定資産合計	5,577	5,650
投資その他の資産		
投資有価証券	2,552	2,980
長期前払費用	1,189	1,290
繰延税金資産	685	1,115
その他	1,579	1,590
貸倒引当金	△218	△220
投資その他の資産合計	5,788	6,756
固定資産合計	51,322	56,255
繰延資産	35	25
資産合計	85,638	92,214

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2013年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2013年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,372	10,373
短期借入金	7,727	4,433
コマーシャル・ペーパー	4,000	5,000
1年内償還予定の社債	2,722	1,622
1年内返済予定の長期借入金	15,039	16,341
リース債務	403	276
未払法人税等	313	1,086
リース・メンテナンス前受金	564	536
賞与引当金	361	215
品質保証引当金	67	43
その他	1,089	1,267
流動負債合計	42,661	41,194
固定負債		
社債	3,467	2,805
長期借入金	20,954	27,791
リース債務	263	122
退職給付引当金	785	878
役員退職慰労引当金	182	195
資産除去債務	191	212
その他	504	622
固定負債合計	26,348	32,629
負債合計	69,010	73,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,529	2,529
資本剰余金	4,155	4,155
利益剰余金	9,761	11,272
自己株式	△6	△6
株主資本合計	16,440	17,951
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	187	438
その他の包括利益累計額合計	187	438
少数株主持分	0	0
純資産合計	16,628	18,390
負債純資産合計	85,638	92,214

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)
売上高	40,872	48,752
売上原価	30,767	37,129
売上総利益	10,105	11,622
販売費及び一般管理費		
役員報酬	411	465
給料手当及び賞与	2,731	3,173
賞与引当金繰入額	191	222
退職給付費用	202	208
役員退職慰労引当金繰入額	27	29
貸倒引当金繰入額	△9	2
品質保証引当金繰入額	17	△11
のれん償却額	381	505
その他	2,852	3,453
販売費及び一般管理費合計	6,805	8,049
営業利益	3,299	3,572
営業外収益		
受取配当金	48	48
保険解約返戻金	—	67
その他	52	111
営業外収益合計	101	227
営業外費用		
支払利息	226	217
支払手数料	52	21
その他	54	72
営業外費用合計	333	312
経常利益	3,067	3,488
特別利益		
固定資産売却益	0	50
投資有価証券売却益	1	69
新株予約権戻入益	8	—
特別利益合計	10	120
特別損失		
固定資産除売却損	45	36
投資有価証券売却損	2	0
投資有価証券評価損	1	—
特別損失合計	49	36
税金等調整前四半期純利益	3,028	3,572
法人税、住民税及び事業税	610	1,788
法人税等調整額	726	△305
法人税等合計	1,337	1,483
少数株主損益調整前四半期純利益	1,691	2,089
少数株主利益	0	0
四半期純利益	1,691	2,089

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,691	2,089
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	251
その他の包括利益合計	△13	251
四半期包括利益	1,677	2,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,677	2,340
少数株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,028	3,572
減価償却費	5,376	6,144
のれん償却額	381	505
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16	△0
受取利息及び受取配当金	△53	△51
支払利息	226	217
売上債権の増減額(△は増加)	△1,001	△203
たな卸資産の増減額(△は増加)	△74	△121
リース投資資産の純増減額(△は増加)	764	483
貸貸資産の純増減額(△は増加)	△8,094	△8,677
仕入債務の増減額(△は減少)	△379	△585
利息及び配当金の受取額	53	51
利息の支払額	△223	△230
法人税等の支払額	△1,572	△1,115
法人税等の還付額	169	250
その他	△1,396	△1,644
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,812	△1,405
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△15
定期預金の払戻による収入	18	288
有形及び無形固定資産の取得による支出	△930	△1,518
有形及び無形固定資産の売却による収入	103	349
固定資産の除却による支出	△4	△4
投資有価証券の取得による支出	△226	△147
投資有価証券の売却による収入	36	213
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,677	△902
その他	△21	159
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,703	△1,577
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	8,428	4,323
短期借入金の返済による支出	△8,410	△7,818
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	5,000	1,000
長期借入れによる収入	12,814	16,640
長期借入金の返済による支出	△10,000	△8,685
社債の償還による支出	△1,170	△2,211
リース債務の返済による支出	△37	△15
配当金の支払額	△477	△578
その他	△59	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,087	2,622
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	571	△360
現金及び現金同等物の期首残高	1,692	1,809
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,263	1,449

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2012年4月1日至2012年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	自動車総合 サービス 事業	ケミカル 事業	パーキング 事業	機械工具 販売事業	合成樹脂 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	25,664	8,103	2,861	1,485	2,667	40,782	89	40,872	—	40,872
セグメント間の内部売上高又は振替高	89	24	4	—	—	117	—	117	△117	—
計	25,754	8,127	2,865	1,485	2,667	40,900	89	40,990	△117	40,872
セグメント利益又は損失(△)	2,114	548	301	△24	334	3,274	15	3,290	9	3,299

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸及び管理等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間において、前田機工株式会社の株式を取得したことに伴い、同社及びその子会社1社を新たに連結の範囲に含めております。これにより、「機械工具販売事業」セグメントの資産の金額は、前連結会計年度の末日に比べ、3,341百万円増加しております。

また、株式会社ジコーの株式を取得したことに伴い、同社及びその子会社2社を新たに連結の範囲に含めております。これにより、「合成樹脂事業」セグメントの資産の金額は、前連結会計年度の末日に比べ、4,758百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「機械工具販売事業」セグメントにおいて、前田機工株式会社の株式を取得したことに伴い、同社及びその子会社1社を新たに連結の範囲に含めております。当該事象により19百万円のものれんが発生し、金額が僅少であることから一括償却しております。

また、「合成樹脂事業」セグメントにおいて、株式会社ジコーの株式を取得したことに伴い、同社及びその子会社2社を新たに連結の範囲に含めております。当該事象による当第3四半期連結累計期間におけるのれんの償却額は47百万円、当第3四半期連結会計期間末における未償却残高は905百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2013年4月1日 至 2013年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	自動車総合 サービス 事業	ケミカル 事業	パーキング 事業	機械工具 販売事業	合成樹脂 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	26,489	8,169	3,111	6,649	4,245	48,665	86	48,752	—	48,752
セグメント間の内部売上高又は振替高	86	85	2	3	—	177	—	177	△177	—
計	26,575	8,255	3,114	6,652	4,245	48,842	86	48,929	△177	48,752
セグメント利益	2,223	656	399	95	174	3,549	11	3,560	12	3,572

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸及び管理等であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、タスコジャパン株式会社の株式を取得したことに伴い、同社を新たに連結の範囲に含めております。これにより、「機械工具販売事業」セグメントの資産の金額は、前連結会計年度の末日に比べ、2,419百万円増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業経営戦略方針の変化に伴い、従来の「リース事業」、「自動車メンテナンス受託事業」、「燃料販売事業」を「自動車総合サービス事業」に集約し、「ケミカル事業」、「パーキング事業」、「機械工具販売事業」、「合成樹脂事業」と合わせた5区分に変更しております。

各報告セグメントの概要は、以下のとおりであります。

- (1) 自動車総合サービス事業 …自動車リース、機器及び各種動産のリース、レンタル業、カーシェアリングサービスの提供並びにリース満了車等の処分、自動車メンテナンスの受託及びこれに付随する中古自動車の販売業務、自動車の点検、法定点検及び整備等の自動車整備業、石油燃料の販売及びガソリン給油カードの募集、卸売自動車用品の販売業務、損害保険代理店業務
- (2) ケミカル事業 …ケミカル製品(自動車用、機械・設備用、工業用等)の製造及び販売
- (3) パーキング事業 …来客用駐車場及びコイン駐車場の運営
- (4) 機械工具販売事業 …機械工具及び自動車整備工具の販売、空調工具及び計測工具の販売
- (5) 合成樹脂事業 …合成樹脂製品の設計・製造・販売、合成樹脂の再生加工及び合成樹脂原料の販売

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、セグメント見直し後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「機械工具販売事業」セグメントにおいて、タスコジャパン株式会社の株式を取得したことに伴い、同社を新たに連結の範囲に含めております。当該事象による当第3四半期連結累計期間におけるのれんの償却額は46百万円、当第3四半期連結会計期間末における未償却残高は422百万円であります。

4. その他

(1) 株式取得に関する株式譲渡契約締結

(株式会社ミットモ製作所の株式取得)

当社は、2014年1月28日開催の取締役会において、株式会社ミットモ製作所の株式を同日付で取得することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

①株式取得の理由

当社グループは、「自動車総合サービス事業」、「ケミカル事業」、「パーキング事業」、「機械工具販売事業」、「合成樹脂事業」の5事業を展開しております。

このたび、株式を取得いたしました株式会社ミットモ製作所は、電動工具、電動用先端工具、作業工具、日曜大工用品の企画・開発・製造・販売を手掛けておりますが、機械工具販売事業において既存の自動車整備工具、産業用機械工具、空調工具に加え、取扱い工具の分野を充実させることにより、同事業の一層の拡大を図るためであります。

②株式取得の相手の名称

安岡 巖氏

③株式取得する会社の名称、事業内容、規模

ア. 名称	: 株式会社ミットモ製作所		
イ. 事業内容	: 電動工具及び作業工具の企画・開発・製造・販売		
ウ. 規模	: 資本金	10百万円	(2013年1月31日現在)
	: 純資産	1,326百万円	(2013年1月期)
	: 総資産	1,449百万円	(2013年1月期)
	: 売上高	1,077百万円	(2013年1月期)
	: 当期純利益	103百万円	(2013年1月期)

(注) 上記数値は株式会社ミットモ製作所の2013年1月期の数値に基づいており、当社の会計監査人の監査証明を受けておりません。

④株式取得の時期

ア. 取締役会決議	: 2014年1月28日
イ. 株式譲渡契約締結日	: 2014年1月28日
ウ. 株式取得日	: 2014年1月28日

⑤取得する株式数、取得価額及び取得後の持分比率

ア. 取得株式数	: 6,000株
イ. 取得価額	: 相手方との守秘義務契約を締結しているため、開示を控えさせていただきます。
ウ. 取得後の持分比率	: 100%

⑥資金の調達方法

自己資金及び借入金

(2) 事業の内容

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、2014年1月28日に株式会社ミットモ製作所及びその子会社である有限会社フレンドを子会社化いたしました。この結果、当社グループは当社及び子会社17社により構成されることとなりました。

また、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

当社グループの事業内容及び当社と関係会社の当該事業に係る位置付けは次のとおりであります。

報告セグメント名称	報告セグメントの内容	主な関係会社
自動車総合サービス事業	自動車リース、機器及び各種動産のリース、レンタル業、カーシェアリングサービスの提供並びにリース満了車等の処分、自動車メンテナンスの受託及びこれに付随する中古自動車の販売業務、自動車の点検、法定点検及び整備等の自動車整備業、石油燃料の販売及びガソリン給油カードの募集、卸売自動車用品の販売業務、損害保険代理店業務	㈱イチネン 野村オートリース㈱ アルファオートリース㈱ イチネンB Pプラネット㈱ ㈱イチネンカーシェアリング
ケミカル事業	ケミカル製品（自動車用、機械・設備用、工業用等）の製造及び販売	㈱タイホーコーザイ
パーキング事業	来客用駐車場及びコイン駐車場の運営	㈱イチネンパーキング
機械工具販売事業	機械工具及び自動車整備工具の販売、空調工具及び計測工具の販売、電動工具及び作業工具の企画・開発・製造・販売	前田機工㈱ ㈱トライアップ タスコジャパン㈱ ㈱ミットモ製作所 ㈱フレンド
合成樹脂事業	合成樹脂製品の設計・製造・販売、合成樹脂の再生加工及び合成樹脂原料の販売	㈱ジコー ㈱ジコーテック ㈱ジコーポリマー ジコーインターナショナルLTD.

また、上記に含まれない事業の内容は次のとおりであります。

	事業の内容	主な関係会社
その他	不動産の賃貸及び管理	㈱セレクト

主な事業系統図は次のとおりであります。

